

## (臨床研究に関する公開情報)

公立陶生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 人工呼吸器離脱可否における SBT 中のバイタル変化の違い

[当院研究責任者] 部署名 臨床工学部 氏名 小山昌利

[研究の概要]

### 【背景】

人工呼吸器からの離脱時は離脱トライアル (SBT) が用いられている。SBT 離脱基準は 3 学会合同プロトコルより換気・循環の指標が明記されており、は約 30 分後に離脱基準としてのバイタル等を評価して判断することが多い、しかし先行研究では SBT 中のバイタル変化などによって離脱の可否がある程度推測されるとの報告もあり途中経過の変化も重要であると考えている。今回私たちは SBT 中の変化について確認を行いながら実施しており、経過中の変化と離脱の可否の関係性や変動の状況など、疾患に伴う個別的变化など、経過中のバイタル変動を後方視的に確認することで、早期より患者変化を捉えることが可能となると考える。

### 【目的】

SBT 中の変化について確認を行いながら実施しており、経過中の変化と離脱の可否の関係性や変動の状況など、疾患に伴う個別的变化など、経過中のバイタル変動を後方視的に確認することで、早期より患者変化を捉えることが可能となり、さらに安全な SBT の実施につながると考え今回の研究を実施する。

### 【研究の方法】

- 対象となる患者さん：2018 年～2021 年における当院集中治療室で SBT を実施した約 300 例を対象としてデータを抽出・評価する
- 研究期間：倫理委員会承認後から 2025 年 12 月頃までとしております。
- 利用するカルテ情報：診断名、人工呼吸器導入目的など基礎疾患、診療科、年齢、性別、身体所見、人工呼吸器設定項目、SBT 中・前後のバイタルサイン変動、患者所見、呼吸数、RSBI (Rapid shallow breathing index)、重症度スコア (APACHE2)、体位等です。
- 検体や情報の管理：情報は当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

収集する情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

[問い合わせ先]

公立陶生病院

所属部署 臨床工学部 氏名 小山昌利

---

電話 0561-82-5101 FAX 0561-82-9139